

神々の宿る島

インドネシア・バリ島

講師：山口 ニ ワヤン リンブンさん

9月9日（金）安室東公民館において、国際理解出前講座「神々の宿る島 インドネシア・バリ島」を開催しました。講師は、バリ島出身で現在姫路市内にお住いの山口 ニ ワヤン リンブンさんです。当日は、15名の市民の方が参加されました。

インドネシア共和国は、人口は2億5,500万人で世界第4位、300の民族からなる多民族国家です。1万8,000もの島々があり、中でもバリ島は豊かな自然とヒンドゥー教の影響を受けた独特の文化で、観光地として高い人気があります。



ワヤンさんはバリの民族衣装で登場し、たくさんの写真を使って、美しい風景から観光旅行では見ることのできない人々の生活の様子まで紹介されました。

バリ島では、日常生活は宗教と密接にかかわっており、女性の一日は朝早く起きて市場へ行き、お供えの準備をるところから始まります。また、子どもが生まれたり、成人したりすると必ず寺院を訪れて儀式を行うそうです。3月がバリの暦では正月にあたり、パレードで踊ったり楽器を演奏したりして盛大にお祝います。バリの人はとてもフレンドリーでお祭り騒ぎが大好きだそうです。



ジャックフルーツ。スイカよりも大きい実が木になるそう。参加者からは驚きの声があがりました。甘いにおいがしてきたら食べごろ。

左の2人は結婚式、右の3人は成人式。儀式にはお金がかかるので、身内や近所で同時に執り行うこともあるそう。

